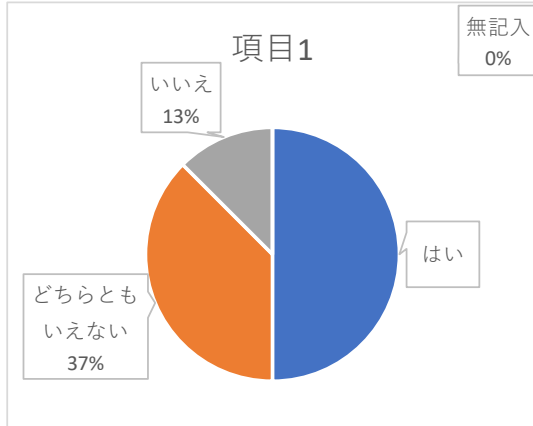


令和4年度 放課後等デイサービス自己評価表

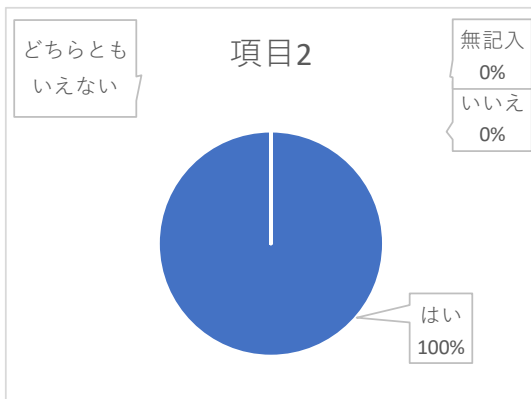
実施職員8名（管理者、児童発達支援管理責任者含む）

①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか



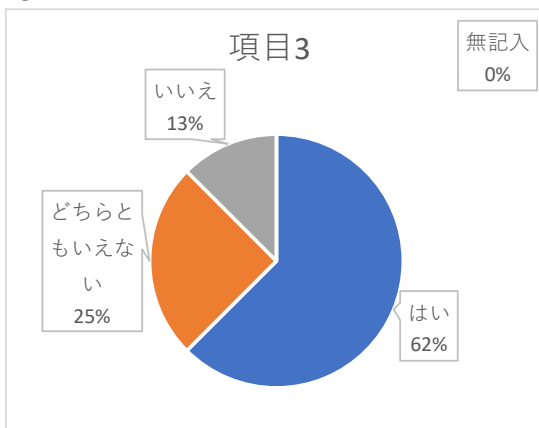
空間が広いのでパーテーションで落ち着ける部屋を作るなど使い方を工夫している。

②職員の配置数は適切であるか



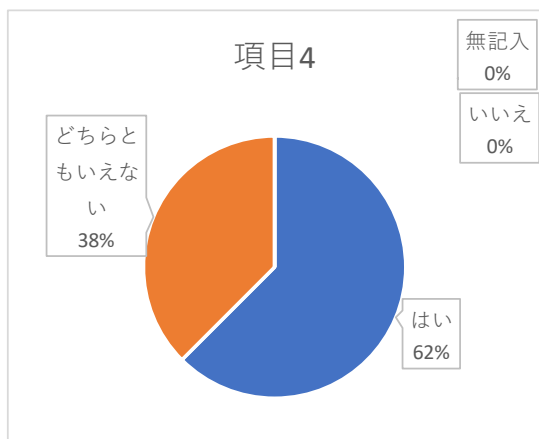
設置基準に合わせて職員配置をしている。

③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか



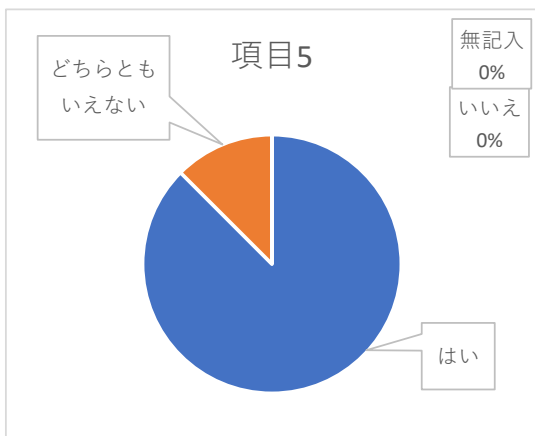
段差のある場所にはすのこ等を敷いているが、必要に応じて声をかけている。

④業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか



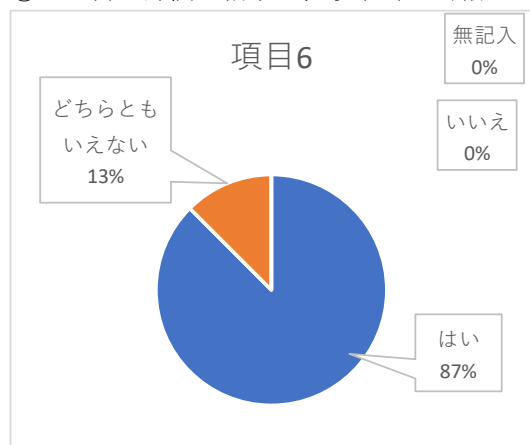
振り返りの中で子どもたちの様子を話し合い支援方法を考えて実践するようにしている。

⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか



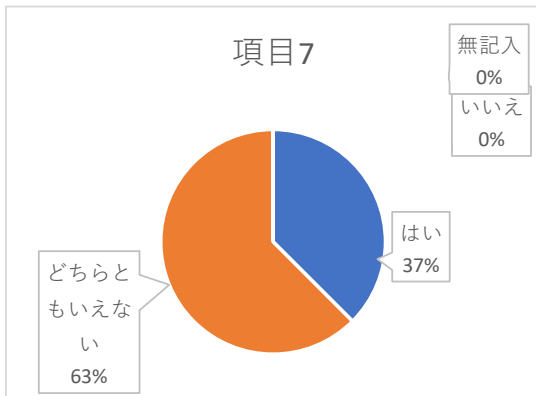
年に一回のアンケートを実施している。

⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか



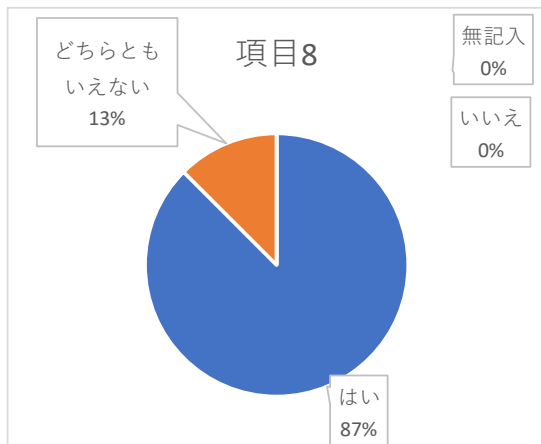
ホームページの自己評価に掲載している。

⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか



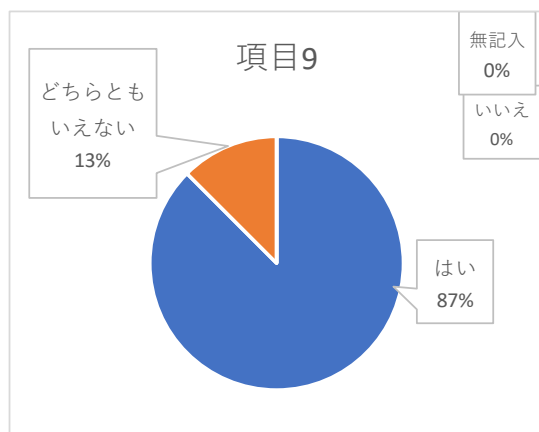
今後の検討課題と思っている。

⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか



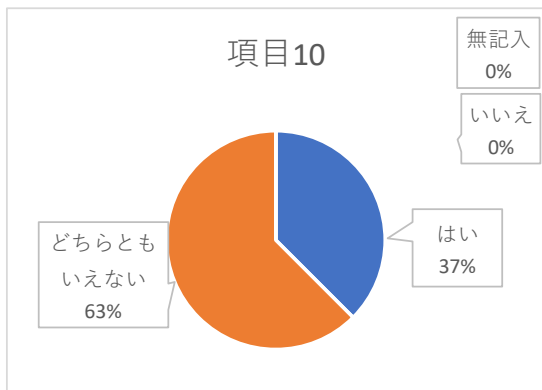
定期的な職員研修や外部の研修に積極的に参加し内容を全員で共有してスキルアップに努めている。

⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか



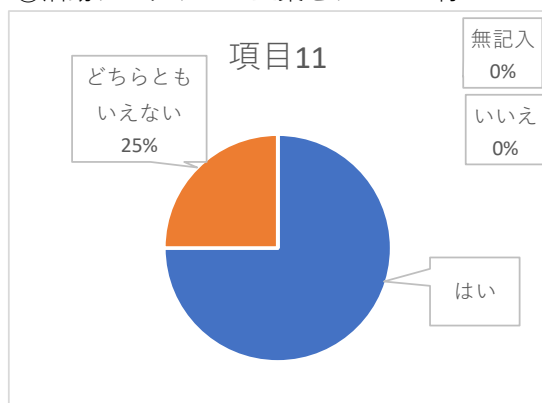
保護者様とのモニタリング会議にて課題やニーズをお聞きし放課後等デイサービス支援計画を作成している。

⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか



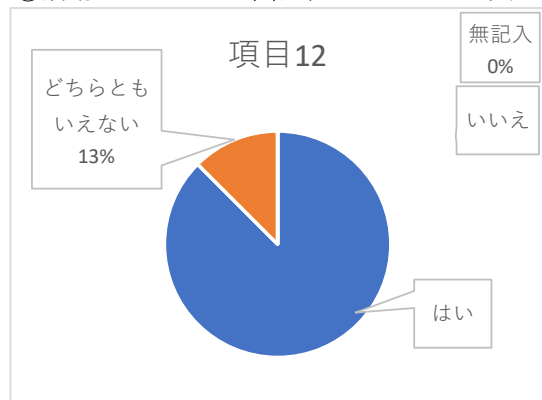
発達検査の結果などは保護者の同意のもと提供頂いている。

⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか



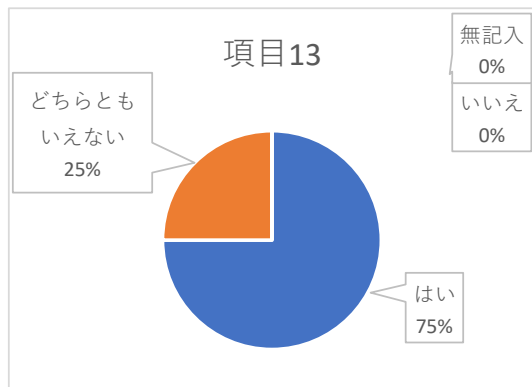
日々、職員で意見を出し合い話し合っている。

⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか



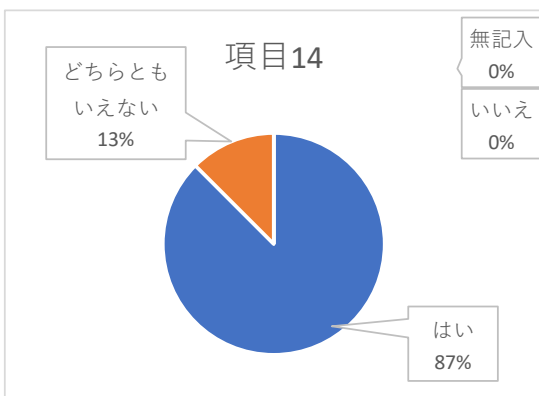
今までの活動を振り返ったり、子どもの意見を取り入れたりしつつ、活動内容が固定化しないように職員で話し合っている。

⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか



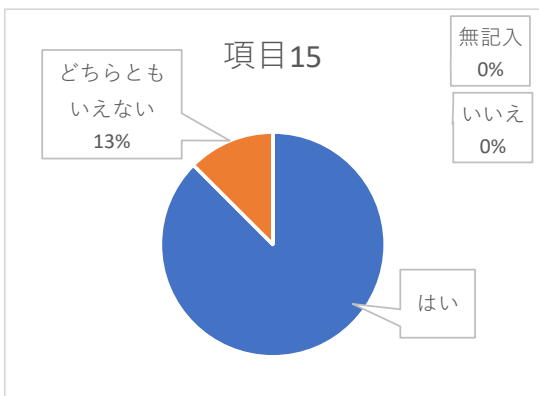
長期休暇や土曜日の活動を職員で話し合い・計画し、平日ではできない内容等も取り入れている。

⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか



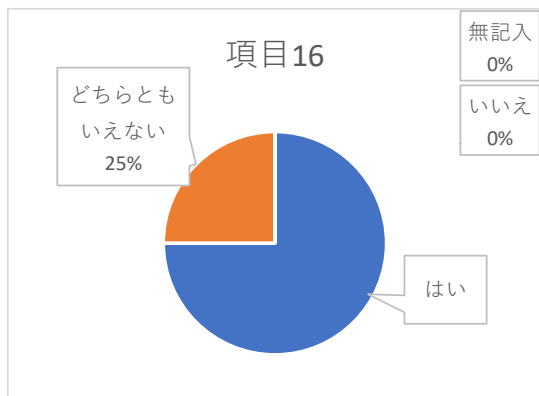
子どもの発達課題に合わせて、個別活動や集団活動等を組み合わせて作成している。

⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか



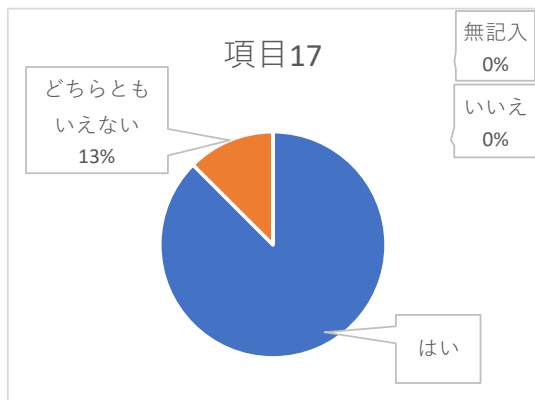
毎日、出勤者全員でミーティングを行い情報共有し支援について確認している。

⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか



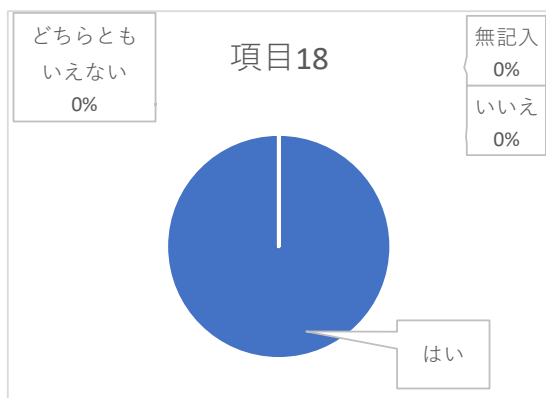
その日にあったことや気づいたこと、送迎時の様子や保護者との会話などもその都度共有している。

⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか



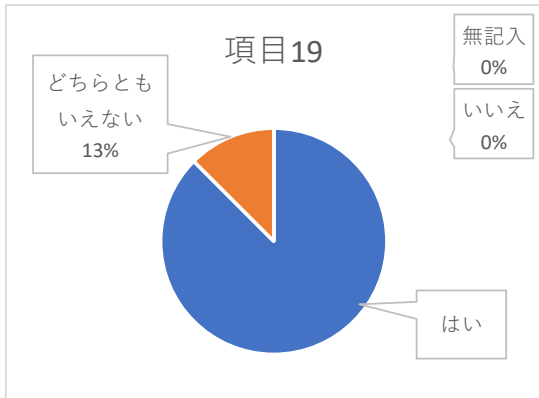
日々の様子も含め記録を取り、共有し検討して支援の改善に努めている。

⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか



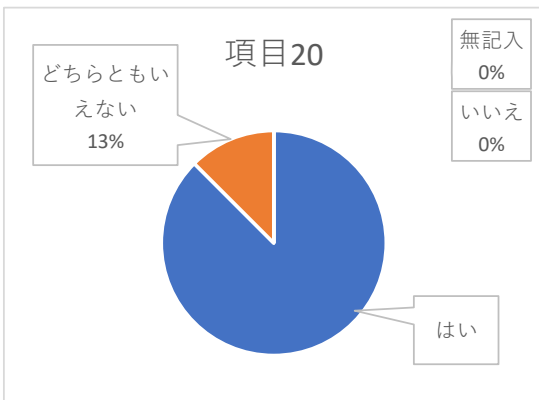
半年ごとにモニタリングを実施し支援計画書を見直ししている。

⑱ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ せて支援を行っているか



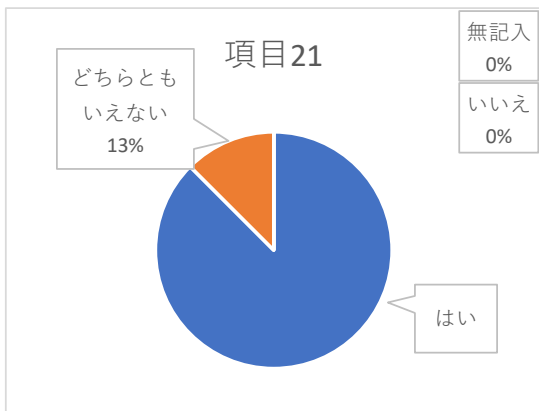
ガイドラインの基本活動をもとに組み合わせ て個々にあった支援方法を検討し実施している。

⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふさ わしい者が 参画しているか



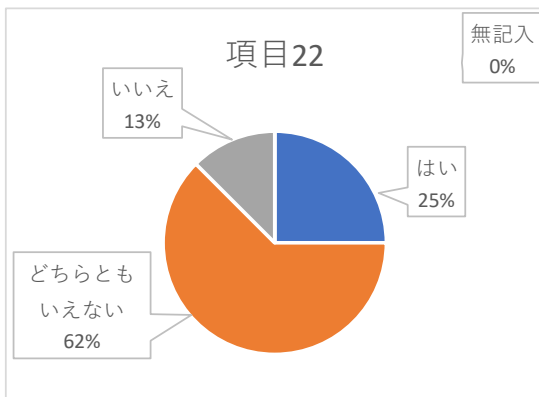
管理者・児童発達支援管理責任者が参加して いる。

㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送 迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか



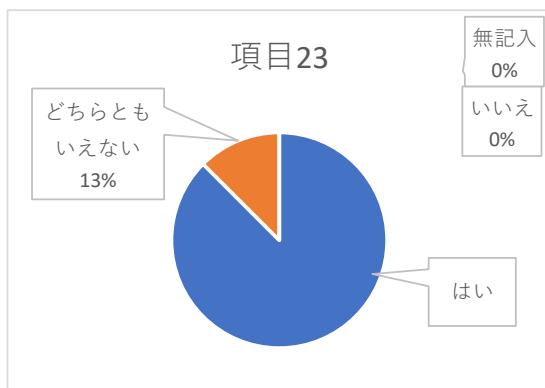
行事予定、下校時間、利用予定など随時連絡 を取り合い情報共有している。

②医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか



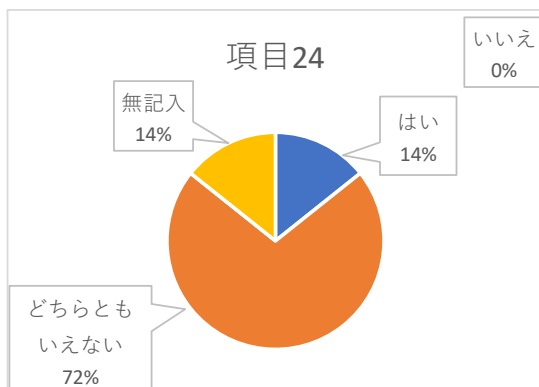
現在該当児を受け入れていない。

③就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか



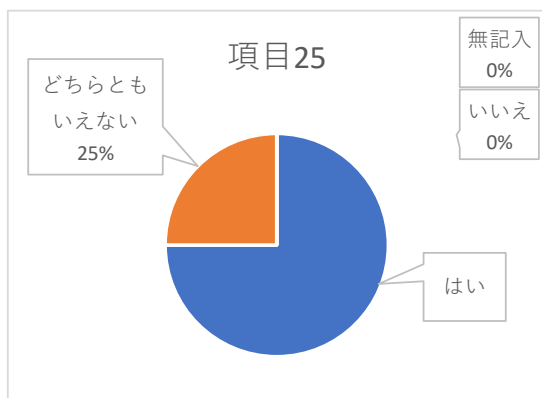
保育園や幼稚園に対象児の様子を見に行き情報を共有している。

④学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか



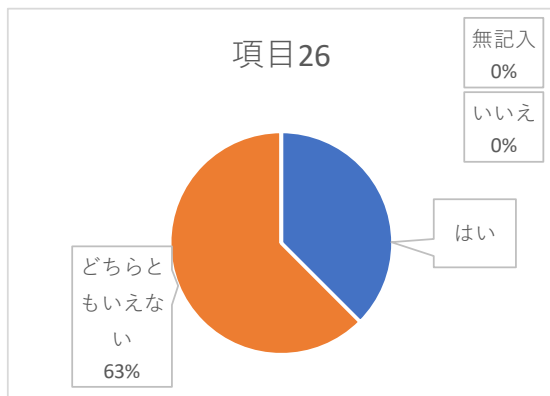
該当児がないためわからない。

⑳児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか



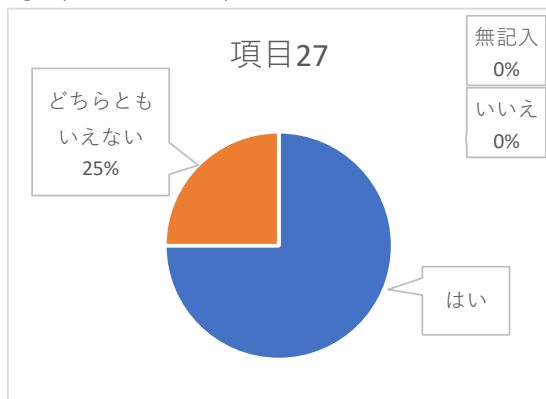
外部研修に可能な限り参加している。

㉑放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか



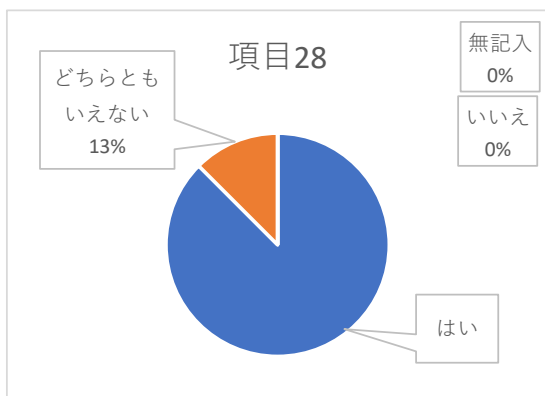
コロナ感染防止のため現在出来ていない。

㉒（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか



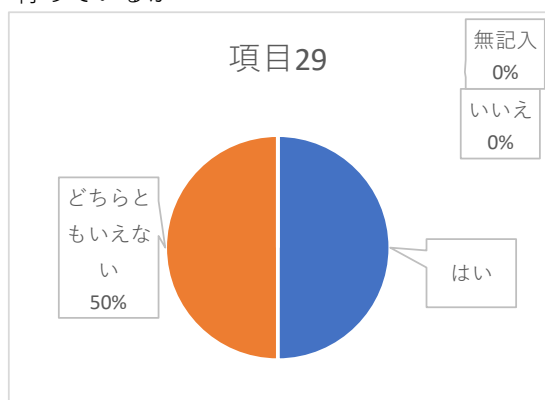
定期的に児童通所連絡会へ参加している。

⑳日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか



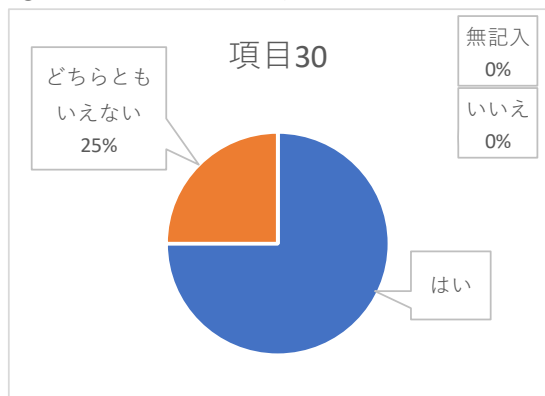
送迎時にお話したり、連絡帳を活用したりして子どもの状況など共通理解に努めている。

㉑保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか



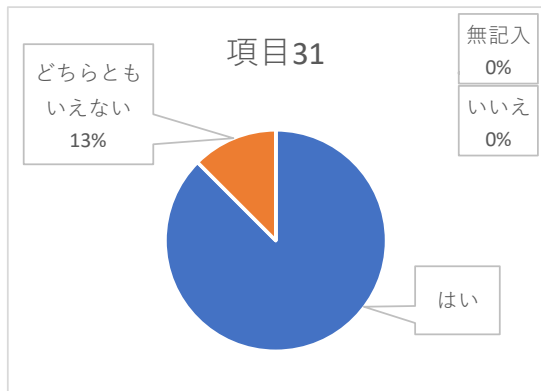
保護者に対する支援としてはまだ実施出来ていない。今後の課題として検討している。

㉒運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか



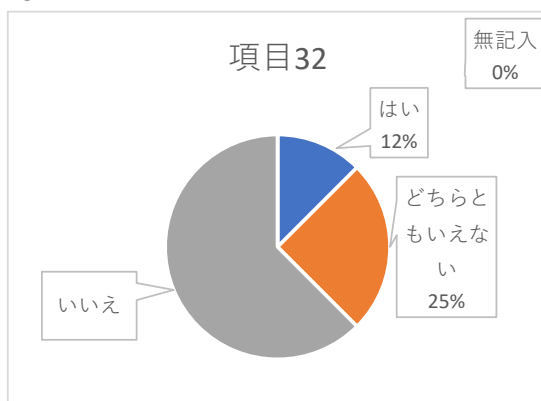
契約時に説明を行い変更になる時はその都度説明するようにし、日頃からわかりやすい説明を心掛けている。

③①保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか



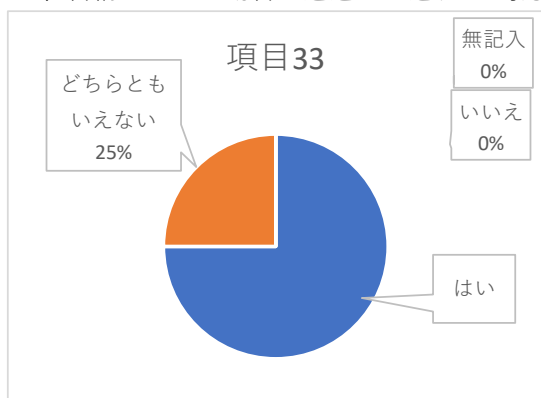
送迎時や連絡帳を活用し相談等を受けたらその都度できる限りの助言と支援を心掛けている。

③②父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援しているか



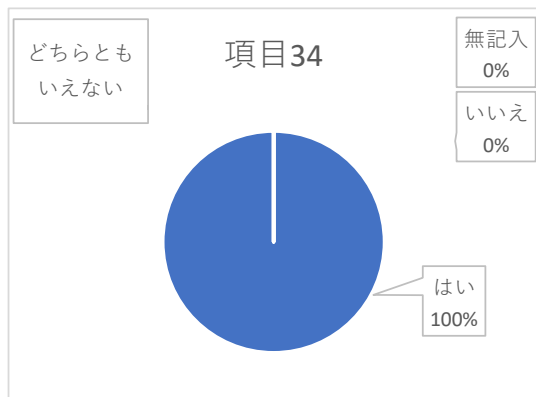
現在はコロナ感染防止のため保護者会等は開催できていない。

③③子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか



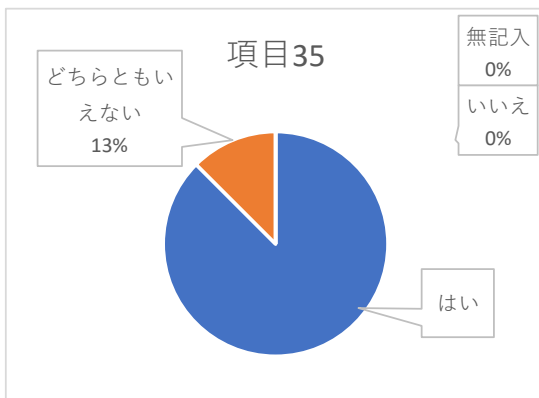
苦情があった際には事実確認をし、迅速に対応するように心がけている。
また、保護者の方とは連絡が取やすい環境を整えている。

③④定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか



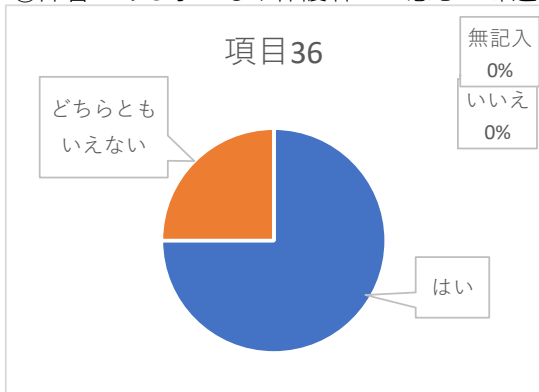
長期休暇後には写真を載せてよつばだよりを発行している。

③⑤個人情報に十分注意しているか



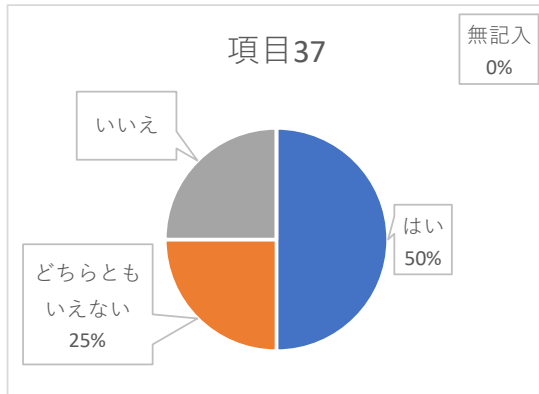
キャビネット（鍵付き）に保管している。

③⑥障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか



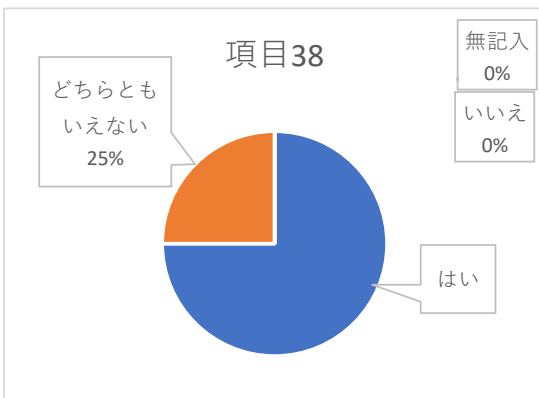
しっかりと意思を受け止めるよう心がけている。

③7事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っているか



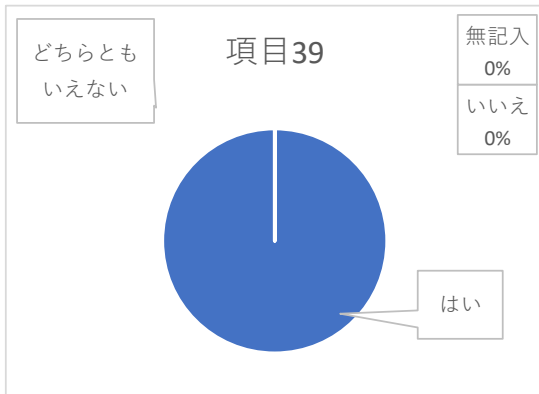
コロナ感染防止のため現在出来ていないが、感染が落ち着いたら実施したいと思っている。

③8緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか



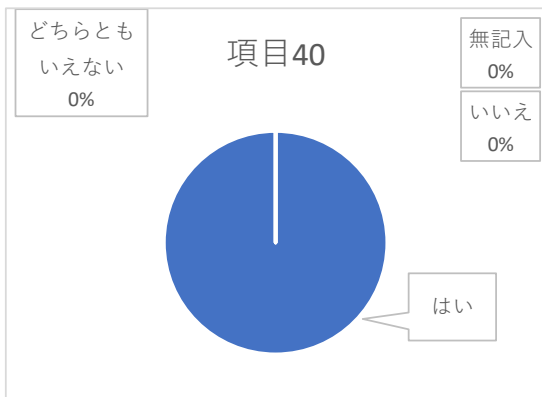
マニュアルに加え随時更新された情報も周知徹底している。

③9非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか



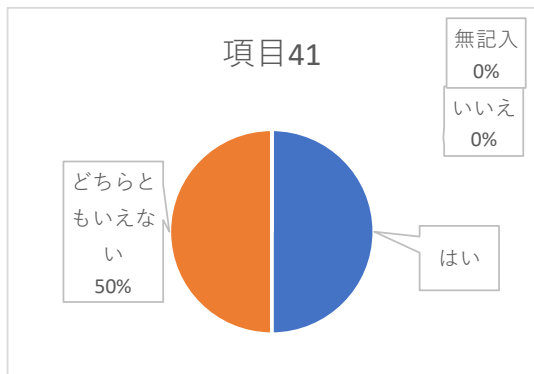
計画を立てて年に数回、避難訓練を行っている。

④0虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか



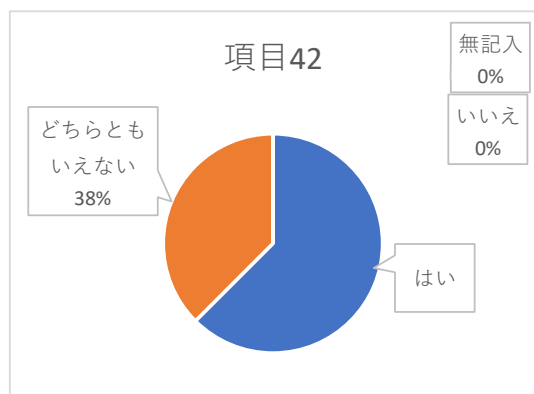
全職員を対象に研修を行い外部講習にも参加し内容を共有した上で対応している。

④1どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか



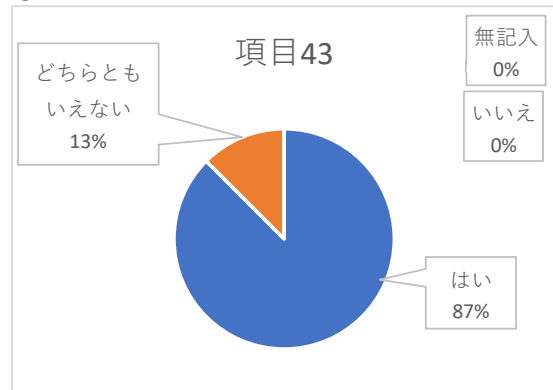
現在、身体拘束が必要な児童がいない。

④2食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか



事前に把握した上でその都度確認するように周知徹底している。

④3ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか



危険な場面や事故があった際には職員全体で共有し原因・改善を話し合い報告書を作成している。